

主日礼拝

2026 年 09 月 13 日
午前 10 時 30 分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「ハレルヤ。
いかに幸いなことか
主を畏れる人
主の戒めを深く愛する人は。
彼の子孫はこの地で勇士となり
祝福されたまっすぐな人々の世代となる。
彼の家には多くの富があり
彼の善い業は永遠に堪える。
まっすぐな人には闇の中にも光が昇る
憐れみに富み、情け深く、正しい光が。
憐れみ深く、貸し与える人は良い人。
裁きのとき、彼の言葉は支えられる。
主に従う人はとこしえに揺らぐことがない。
彼はとこしえに記憶される。」 (詩編 112:1~6)

頌栄 26「グロリア」



交読詩編 (讃美歌 54 年度版交読文 9)

司式者：汝ら神の子らよ、主にささげまつれ、
会衆：栄えと力とを、主にささげまつれ。
司式者：その御名にふさわしき栄光を、主にささげまつれ、
会衆：きよき衣をつけて、主をおがみまつれ。
司式者：主の御声は水の上にあり、栄光の神は^{いかすち}雷をとどろかせたもう、
会衆：主は^{おおみす}大水の上にいませり。
司式者：主の御声は力あり、
会衆：主のみこえはみいつあり。
司式者：主の御声は^{こうはく}香柏を折りくだく、
会衆：主、レバノンの香柏を折りくだきたもう。
司式者：これを小牛のごとくおどらせ、
会衆：レバノンとシリオンとを、若き^{のうし}野牛のごとくおどらせたまう。
司式者：主の御声は焰をわかす、主のみこえは野をふるわせ、

会衆：主はカデシの野をふるわせたまう。

司式者：主の御声は鹿に子をうませ、また林を裸にす、
会衆：その宮にあるすべてのもの呼ばわりて、栄光なるかなという。

司式者：主は洪水の上に^ざ坐したまえり、会衆：主はみくらに^ざ坐して、とこしえに王なり。

司式者：主はその民に力をあたえたもう、

会衆：安きをもてその民をさきわいたまわん。

賛美 19「み栄え告げる歌は」

When in our music God is glorified
詞：Fred Pratt Green, 1903—2000ENGELBERG
曲：Charles V. Stanford, 1852—1924

賛美 32「キリエ・エレイソン」



聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 9:6~15

新約(新共同訳)P335~P336

6 つまり、こういうことです。惜しんでわずかし
か種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜し
まず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。
7 各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、
こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜ん
で与える人を神は愛してくださるからです。8 神
は、あなたがたがいつもすべての点ですべての
ものに十分で、あらゆる善い業に満ちあふれるよう
に、あらゆる恵みをあなたがたに満ちあふれさせ
ることがおできになります。9「彼は惜しみなく
分け与え、貧しい人に施した。彼の慈しみは永遠
に続く」と書いてあるとおりです。10 種を蒔く
人に種を与え、パンを糧としてお与えになる方は、
あなたがたに種を与えて、それを増やし、あなた
がたの慈しみが結ぶ実を成長させてくださいま
す。11 あなたがたはすべてのことに富む者とさ
れて惜しまず施すようになり、その施しは、わた
したちを通じて神に対する感謝の念を引き出し
ます。12 なぜなら、この奉仕の働きは、聖なる
者たちの不足しているものを補うばかりでなく、
神に対する多くの感謝を通してますます盛ん
になるからです。13 この奉仕の業が実際に行われ
た結果として、彼らは、あなたがたがキリストの
福音を従順に公言していること、また、自分たち
や他のすべての人々に惜しまず施しを分けてく
れることで、神をほめたたえます。14 更に、彼

らはあなたがたに与えられた神のこの上なくす
ばらしい恵みを見て、あなたがたを慕い、あなた
がたのために祈るのです。15 言葉では言い尽く
せない贈り物について神に感謝します。

賛美 567「ナルドの香油」

Master, no offering
詞: Edwin P. Parker, 1836-1925

LOVE'S OFFERING
曲: Edwin P. Parker, 1836-1925



1 ナルドの香油 そそいで
主につかえた マリアを
思いおこし、私の愛
ささげます、主イエスよ。

3 嘆く人に 望みを
涙の地に 平和を
告げるために この私を
ささげます、主イエスよ。

2 弱い人に 力を、
暗い世には 光を、
わけあうため この私を
ささげます、主イエスよ。

4 この世のわざ 果たして
主のみもとに 帰る日、
平和のうちに 主よ、私を
受け入れてください。

説教 「神の恵みに満ちあふれる働き」

賛美 519「イザヤを招く神の声は」

The voice of God is calling
詞: John H. Holmes, 1879-1964

MEIRIONYDD
曲: William Lloyd, 1786-1852



- 1 イザヤを招く 神の声は
いま 今なおひびく、私たちに。
「苦しむ民を 救うために
私は誰を 遣わそうか」。
- 2 もたえ 苦しき 叫ぶ声を
神は受けとめ 尋ねられる。
「光を求め 迷う民に
私は誰を 遣わそうか」。
- 3 「神よ、私がここにいます。
用いてください、みわざのため」。
知恵と力は 乏しくても
神は豊かに 用いられる。
- 4 この世の富も 名誉も捨て
ただみころを 仰ぎ望み、
ゆくべき道を 示す神の
み声に 応え したがう行こう。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏

司 式：福原 之織
説 教：向井 希夫牧師
奏 楽：高橋 孝子